

ラヴラヴ フィリピン語 講座 講師：白野慎也

Lesson 4 好みのタイプ ang tipo ko

みなさんこんにちは。フィリピーナと恋する、あるいは恋したいみなさんが「愛の深まる」実践的フィリピン語表現を学ぶ「ラヴラヴフィリピン語会話講座」の時間です。テキストは私の新刊書「恋する指さし会話帳③フィリピン語編」です。
今回は、テキスト14～15ページの「好みのタイプ」に関する基本表現・文法を学びます。

【レッスン1：フィリピーナの好みのタイプ】
まず、フィリピーナにとってタイプの男性性について考えてみたいと思います。外見はもちろん重要ですが、女性として成熟してくればくるほど男性の精神面を重視するようになるようです。恋愛の対象としてフィリピーナに好かれる3大ポイントは、ズバリ「親切」、「正直」、「責任感のある」ことだと言えます。特に日本のバブなどで働いているタレントは、過去の恋愛関係において、「うそつきで」、「無責任で」、時に「暴力的」でさえあるフィリピーナの元カレや夫に痛い目に合わされた経験を持っている場合も多く、普通の日本人にとって当たり前の性格が意外とアピールするのである。

【レッスン2：恋するフィリピーナは?】
フィリピン人の性格は、日本人と比べて「明るい」、「開放的」、「熱しやすく冷めやすい」、「感情の起伏が激しい」、「サービス精神が旺盛」などが顕著な特徴として上げられます。また、女性がすごい焼きもち焼きで、ゴシップ好きであることもみなさんよくご存知ですね。こんなフィリピーナが恋するとどうなるのか？ 基本的に彼女たちは恋する気持ちを隠せません。というより隠そうともしません。愛情にまかせて突っ走ります。「恋は盲目」と言いますが、恋するフィリピーナほどこの格言が当てはまる人種はいないとも思うくらいです。ですから「外見」、「過去」、「年の差」、「経済力」など、純粋に愛するフィリピーナには関係ありません。彼女たちの頭には「あなたをアイシテル」という事実があるのみ。時間や場所をかまわず、電話やメールでカレシを追いまわし、他の女性と親しく話してもしようものなら途端にバタンと口を利いてくれなくなったり、ガミガミとなじったり、場合によってはつかみかかったり、暴力をふるったりと、「無実の罪」でひどい目に会った読者の方も少なくないと思います。フィリピーナの立場からひとこと。「焼きもちも真実の愛の証」なのです。愛されるということも時に命がけですね。

好みのタイプ ang tipo ko

→ ①②③のオレンジ色の単語も参照

好みのタイプ ang tipo ko アン ティーポ コ *1 どんなタイプの男性が好きですか? donna taipu no dansee ga suki desuka Anong gusto mo sa lalaki? アングスト モ サ ララーキ	私は～な男性が好きです watashi wa ~na dansee ga suki desu Gusto ko ng lalaking ~ グスト コ ナン ララーキン～
*1 どんなタイプの女性が好きですか? donna taipu no jousee ga suki desuka Anong gusto mo sa babae? アングスト モ サ ババエ	私は～な女性が好きです watashi wa ~na jousee ga suki desu Gusto ko ng babaeng ~ グスト コ ナン ババエ～

親切な shinsetsuna mabait マバイトゥ	正直な syojkinina matapat マタパトゥ	うそをつかない uso wo tsukanai hindi sinungaling ヒンディ シヌガリン	物分かりのよい monowakari no yoi maunawain マウナワイン
気前のよい kimae no yoi mapagbigay マバグビガイ	小気快活 yukaina masayahin マサヤーヒン	ハンサムな hansamu na guwapo/pogi グワポ/ポギー	若い wakai bata バータ
責任感のある sekininkan no aru responsible レスボンサブレ	志の高い kokorozashi no takai ambisyoso/ambisyosa アムビショソ/アムビショサダ	お金持ちの okanemochi no mayaman マヤーマン	信頼できる shinrai dekiru mapagkakatiwalaan マバグカカティワラン
背が高い sega takai matangkad マタンカトゥ	心が広い kokoro ga hirai mapagkaloob マバグカロオブ	筋肉モリモリの kinniku morimori no macho マツチョ	頭のいい atama no ii matalino マタリーノ

私は～は気にしない watashi wa ~ wa kinishinai Wala akong pakialam sa~ ワラ アコン パキアラム サ～	私は～男性は嫌い watashi wa ~ dansee wa kirai Ayaw ko ng lalaking ~ アヤウ コ ナン ララーキン～	けちな kechi na kuripot クリーポット
---	--	--------------------------------------

外見 gaiken hitsura ヒチュウラ	過去 kako nakaraan ナカラアン	不細工な busaikuna pangit パーギット	スケベな sukebena malibog マリボック	無礼な/下品な bureina/gehinna bastos バストス	傲慢な gooman na mayabang マヤーバン
年の差 toshi no sa age gap エイジギャップ	経済力 keezairyoku kayamanan カヤママン	貧乏な bimboo na mahirap マヒラップ	ずるい zurui madaya マダヤ	怠け者の namakemono no tamad タマドゥ	しつこい shitsukoi makulit マクウリット

①②③のオレンジ色の単語も参照

14 *1 lalakiは男、babaeは女、*2 フィリピン人は恋愛にかかわらず、こういふことにこだわらない人が多い、ただ時々守銭奴もいるので注意。

【レッスン3：形容詞+名詞】
ここでほんの少し、文法について勉強します。「親切な男」をフィリピン語で表してみます。実は、2通りの表現が可能です。「親切な(mabait : マバイトゥ) + 「男(lalaki : ララーキ)」と日本語と同じ語順で並べる方法と、「男」+「親切な」と逆順で並べる方法です。どっちでもよいのです。それぞれの方法で「親切な男」をフィリピン語にします。日本語と同じ順番だと「mabait na lalaki」(マバイトゥ ナ ララーキ)、逆順だと「lalaking mabait」(ララーキン マバイトゥ)という具合です。本書のP.14では、形容詞を入れ替えて使いやすいように逆順を採用しています。もうひとつポイントは「形容詞」と「名詞」を

つなぐには「リンカー」というつながりの言葉が必要となります。これには明確なルールがあるので覚えておいてください。1) 前の単語の終わりが母音(a,i,u,e,o)で終わるとき→前の単語の終わりにEngEをつけます。(「lalaking mabait」(ララーキン マバイトゥ)参照) 2) 前の単語が子音(a,i,u,e,o以外)で終わるとき→前の単語と次の単語の間に、離して「na(ナ)」というリンカーをはさみます。(「mabait na lalaki」(マバイトゥ ナ ララーキ)参照) 3) また前の単語が「n」で終わるとき→前の単語の終わりにEngEをつけます。例) 'aking pera' (akin : アーキン : 私の、pera : ペーラ : お金) 一度ではすんわり覚えられないとは思いますが、徐々に慣れるようにしてください。

あなたは私のタイプです anata wa watashi no taipu desu Type kita タイプキタ	本当? hantoo talaga タラガ	冗談はダメよ joodan wa dameyo Totoo na lang ha! トオナランハ
私はマジだよ boku wa maji dayo Seryoso ako セリョーソアコ	私もあなたがタイプよ watashi mo anata ga taipu yo Type din kita タイプディンキタ	ゴマあつるだけだよ gomasutтеру dake desyo Binobola mo lang ako ビノボラモランアコ
ゴマなんかあつてないよ goma nanka sutte naiyo Hindi kita binobola ヒンディキタビノボラ	うれしいわ ureshiwa Masaya ako マサヤアコ	素敵な言葉だよ suteki na kotoba dawa Ang sarap pakikngan ng salita mo! アンサラップパキカンガングサリタモ
信じてほしいな shinjite hoshiina Sana paniwalaan mo ako サーナパニワランモアコ	夢見ているみたいだよ yumemiteru mitai dawa Parang nananaginip ako パーランナナギニップアコ	この夢から覚めたくないわ kano yumekara sametaku naiwa Ayaw kang guwisng sa panaginip na ita アヤウカングウシグサパナギニップナイト

私のことどう思う? watashi no koto doo omou Anong masasabi mo sa akin? アノン マササービモ サアーキン	君は～のように見えるよ kimi wa ~ no yooni mieruyo Mukha kang~ ムクハカン～
---	--

君がここにいるだけで僕の人生は完璧さ kimi ga koko ni irudakede boku no jinsei wa kompekisa Kumpleto na ang buhay ko pag nandito ka クムプレトナアンブハイコバグナントカ	もう僕の人生に何も足りないものはないって感じさ moo bukono jinsee ni nanimo tarinai mono wa naitte kanjiso Parang wala ng pagkukulang sa buhay ko パーランワランバグククランサブハイコ
--	---

僕たちお似合いだよな? bokutachi oniai dayone Bagay tayo, di ba? バーガイタヨ ディバ	そうね soone Oo nga,ano? オオガアノ	勝手にそう思ってる katte ni soo omottete Iyan ang akala mo! イヤンアンアカラモ
---	--------------------------------------	---

僕の人生は君次第さ boku no jinsee wa kimi shidai sa Ikaw na ang bakala sa buhay ko イカウ ナ アン バイラ サ ハイコ	ちょっと大きすぎだよ chotto oogesa dawa Sobra naman ang salita mo! ソブラ ナマン アン サリタ モ	私の知ったこっちゃないわ watashi no shitta koccha naiwa Ewan ko sa buhay mo エワン コ サ ブハイ モ
---	--	--

①②③のオレンジ色の単語も参照

15 *3 似せてみる事は pangarap (バグラップ)、*4 たとえば Mukha kang angel (ムクハカン アンヘル / 君は天使のように見えるよ)、Mukha kang engkantol (ムクハカン エンカント / 君は妖精のように見えるよ) など、*5 「di ba?」(ディバ / 「アノ?」(アノ)ともに「～だよ」などを意味する、英語でいう付加疑問文。

【恋する指さし会話帳③フィリピン語編】P14-15より 発行元：情報センター出版局

【レッスン4：スパイスをちょっと】
日本人がなかなか使えないスパイス的な表現をひとつ紹介しておきたいと思います。「din」(ディン : ～もまた)という単語です。あなたが「Type kita」(タイプ キタ : あなたは私のタイプです)と、タイプの女性から言われたら「Type din kita」(タイプ ディン キタ : 私もおあなたがタイプです)と返してみましよう。途端に二人の関係はぐんと深まるでしょう。ちょっとしたニュアンス語は表現を豊かにするものです。こうしたニュアンス語は「小辞」などと呼ばれます。こうした脇役も徐々にみなさんのボキャブラリーの中に入れていってほしいと思います。

【レッスン5：ゴマすりついでに】
最後にすぐ使えそうな誉め言葉を紹介して今回のレッスンを締めくりたいと思います。「Sexy ka」(セクシー カ : 君はセクシーだね)、「Cute ka」(キュートウ カ : 君はキュートだね)、「Maganda ka」(マガンダ カ : 君はきれいだ)、「Mukha kang artista / angel」(ムクハ カン アルティスタ/アンヘル : 君は女優さん/天子みただ)は発音も難しくありません。「Kamukha ka ni ~」(カムクハ カ ニ～ : 君は～にそっくりだね)では、もちろん～部分に美女やアイドルスターの名前を入れて使うのです。また、前もって彼女の好きな女性スターの名前を聞いておいてそれを使うのも効果的です。ここにコメディアンの名前を使ったら、彼女を道化



*「恋する指さし会話帳③フィリピン語編」大好評発売中！
本講座のテキスト「恋する指さし会話帳③フィリピン語編」は全国の書店で購入できます。全国の一般書店のほか、フィリピンレストラン、フィリピン雑貨店などでも購入可能です。プレゼントや日本語研修の教材としてもお役に立て下さい。購入の申し込みや問い合わせ、商品としての取り扱い希望は、お気軽に発行元の情報センター出版局営業部(03-3358-0231)までお問い合わせ下さい。

*大好評発売中！「ラヴラヴフィリピン語会話～フィリピンバブ編」
日本人の男性とフィリピン人女性の出会いからハッピーエンドに至るまでの会話テキストとCDがセットになった新感覚恋愛学習セット。「はじめましての会話」「お店での会話」「愛の告白」「同僚の誘い」、「楽しい同僚」など、臨場感あふれる設定は超実践的。使用するフィリピン語表現を満載。第1弾はフィリピンバブ恋愛の醍醐味の1つとも言える「同僚編」(¥2800)。以下順次「出逢い編」から次々と続編が発行される予定です。新感覚の本格派CD付きフィリピン語参考書を是非ご体験下さい。
発売は、インターネット販売・通信販売、一部のフィリピンバブ・フィリピンレストラン・フィリピン雑貨店など限定で、一般書店では手に入りません。ご購入の申し込みやお問い合わせ、また商品としてお取り扱いのご希望は発行元まで直接お問い合わせ下さい。その他のオリジナル商品もいろいろありますので合わせてお問い合わせください。
有限会社 アドマーズ Tel:03-5285-0070
e-mail : tgs@admars.co.jp
http://www.admars.co.jp/tgs/

*フィリピン語プライベートレッスンが全国どこからでも好評開講中！
本書「恋する指さし会話帳③ フィリピン語編」や「旅の指さし会話帳～フィリピン編」の著者としておなじみの白野慎也が、読者のみなさまのご要望で開始したマンツーマンのプライベート・レッスンにインターネットレッスンが加わり、全国どこからでもレッスンが受けられるようになりました。フィリピン語を勉強したいがどうやって始めたらいいかわからない方、始めたもののすぐ挫折してしまった方、マンツーマンの密度の高いレッスンが全国どこでも受けられます。お気軽に下記のアドレスまでメールをお寄せ下さい。(tgs@admars.co.jp)

好みのタイプ